



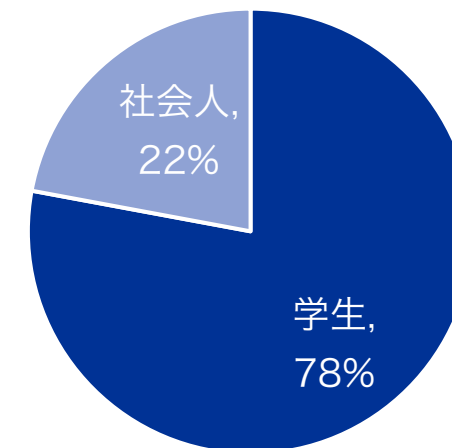
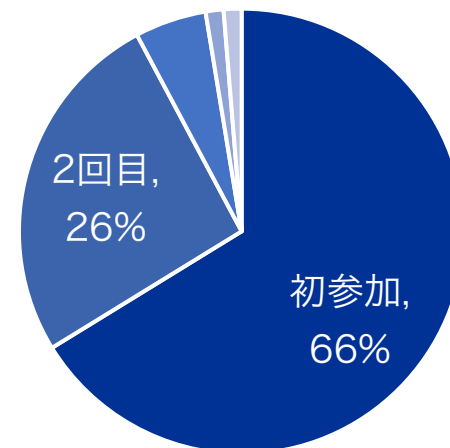
MWS Cup 2022

ポストミーティング
ハッカソン振り返り



エントリー概要

- ・ チーム数 14
- ・ プレイヤー数 77
- ・ 初参加プレイヤー数 51
- ・ 学生：社会人比率 60：17
- ・ **現地参加：オンライン参加 47：30**





表彰

- ・ 総合優勝
- ・ 総合準優勝
- ・ ハッカソン部門優勝
- ・ 静的解析部門優勝
- ・ 表層分析部門優勝
- ・ DFIR部門優勝

総合力の高いチームだけでなく、
各分野毎のトップチームに専門性の
さらなる研鑽と将来の課題出題者に
なってもらうことを期待し、
新たに部門優勝を表彰する



最終得点・順位一覧

順位	チーム名	ハッカソン (課題1)	静的解析 (課題2)	表層分析 (課題3)	DFIR (課題4)	合計得点
1	KAWAcry	20.75	25.00	23.00	15.00	83.75
2	UN頼み	23.79	21.00	21.00	16.00	81.79
3	we love 松尾	22.50	22.00	25.00	10.00	79.50
4	F.SE	21.35	10.00	24.00	14.00	69.35
5	セキュリティ讃歌	17.66	20.00	20.00	8.00	65.66
6	ぐりといが	15.37	19.00	14.00	15.00	63.37
7	㊦脳筋鹿煎餅㊦NEO	14.42	8.00	13.00	15.00	50.42
8	SakanaCushion	12.88	11.00	1.00	24.00	48.88
9	人海戦術_Nitamago	10.67	12.00	6.00	15.00	43.67
10	人海戦術_Sapphire	12.10	15.00	1.00	14.00	42.10
11	MAKUSHITA	9.44	10.00	6.00	11.00	36.44
12	Enduring Pug	0.00	14.00	7.00	8.00	29.00
13	人海戦術_Xakuro	10.52	2.00	1.00	14.00	27.52
14	人海戦術_Emerald	12.54	2.00	1.00	11.00	26.54



MWS Cup 2022

ハッカソン部門



チーム UN頼み

(電気通信大学、NTTコミュニケーションズ)

ハッカソン課題 23.79/25 pts





振り返り

- 新しい取り組み
 - YouTubeでのプレゼン動画の公開
当初より成果物はオープンソースを前提としていたが、
プレゼンがMWSコミュニティ内に閉じており、
良い成果が世の中に認知されないのがもったいない
 - 「事前課題」から「ハッカソン課題」へ呼称変更
 - MWS Cup は課題の多さが参加障壁になっているのでは？という意見があった
 - 「事前課題」に取り組めなくても興味分野の課題だけでも挑戦してほしい
 - 事前課題提出が当日参加の前提条件だと誤解されないために改称



プレゼン動画再生数

1		py-spice MWS マルウェア対策研究人材育成ワークショップ・142 回視聴・2 か月前
2		Kanperで危険な短縮URLを看破してみた MWS マルウェア対策研究人材育成ワークショップ・147 回視聴・2 か月前
3		マルチ商法みぬく君 MWS マルウェア対策研究人材育成ワークショップ・125 回視聴・2 か月前
4		安全実行待～俺を信じろ～の説明 MWS マルウェア対策研究人材育成ワークショップ・138 回視聴・2 か月前



アンケート結果の共有

- **取り組み時間**
 - 20～30時間、2週間程度という回答が多数
- **大変だったこと**
 - 新規性と実用性のあるアイデア・案出しという回答が多数
- **ハッカソンへの意見**
 - チームで開発する経験が無かったので、貴重な経験を得ることができた。
 - セキュリティの話題に関する知識、実装力が得られ良かった。
 - YouTubeなどへの公開などはわかりやすく良かった。
 - YouTubeが一般公開だったので声と名前を出すのが少しためられた。
 - 動画では成果物の要点を一目で理解しにくいので、動画よりもホームページ的なものを作成してリンク集として公開する方が良いのではないか。
 - ハッカソン課題のGitHubなどへのリンクがなかったため、YouTubeの概要欄などにリンクを掲載するとよいかと。



出題者の所感

- みんなが大好きなパターン
 - ブラウザ拡張とフィッシング対策
- 出題者の歓迎テーマにチャレンジしてもらえたら嬉しい
 - オフェンシブセキュリティ
 - クラウドセキュリティ
 - 最近話題になった脅威 (例: Log4Shell、ランサムウェア、Emotetなど)
 - 実用ツールの拡張 (例: Yara, Sigma, Hayabusa rulesets, IDA, Ghidra Plugin, Metasploit moduleなど)
- アイデアを実験的にサービス化してデータ収集までやる成果に期待
 - ブラウザ拡張もいいが、SaaSに期待
 - 実験的サービスで研究課題やデータ集めて、論文へ発展すると理想的